

# **BLITZ**

## **POWER INNOVATION**

R A C I N G M E T E R D C

“BLITZ”-the ability to progress in parameter of the motor vehicle  
Established in 1980, “BLITZ” has revolutionized the automotive industry

## **取り扱い説明書**

: 本製品のご紹介	2
: 付属品のご案内	3
: 取り扱い上の注意事項	4
: 取り付け説明	7
: 操作説明	10
: メーターパーツのご紹介	13

**株式会社ブリッツ**

URL: <http://www.blitz.co.jp/>

この度は「BLITZ RACING METER DC」をお買いあげ頂き、誠に有り難う御座います。  
本製品を車両に取り付ける前に、必ずこの製品についての説明書を御一読下さい。

## 【 :本製品のご紹介】

レーシングメーターDC(デジタルコンパクト)は、長年に渡るブリッツのレーシングメーターシリーズで培われたデーターを基に企画開発された商品です。計測器としての性能もさることながら、薄型軽量という今までのメーターの概念を覆す様相は、ブリッツの商品に対する挑戦の証です。

ここで、その証をご紹介します。

### 〔製品の特徴と開発コンセプト〕

- ・ 全機種に小型ステッピングモーターを採用し、薄さ20.4mm、重さ38gという驚異のサイズを実現しました。(全機種60パイの電気式です)
- ・ 軽量コンパクトなメーター本体は、取り付け場所を選びませんのでどこにでも貼り付けられ、従来の電気式メーターよりも取り付け作業が簡単です。
- ・ ブーストメーターは、従来のようなセンサーを取り付ける必要がありません。ブーストメーターのプレッシャーセンサーはライブユニットに内蔵されていますので、機械式のブーストメーターを取り付けるのと同じ要領で取り付けられます。
- ・ テンブメーターは、メーター部のスイッチで切り替える事により、1台のメーターに「油温」「水温」を個別表示することが可能です。(テンブセンサー1台分の追加接続が別途必要)
- ・ 全てのメーター接続をカプラーONにし、取り付け作業を容易にしました。メーター毎の電源配線や照明配線は不要です。
- ・ ライブユニット(中継接続器)を採用することにより、接続された全てのメーターに電源を分配します。(電源の接続はライブユニットのみです)
- ・ ライブユニットのメーター接続コネクターを3台分設定しました。どのコネクターに接続しても、メーター側がデーターを認識しますので、接続位置の指定はありません。
- ・ 面版と指針の照明には、視認性の良い「白色LED」を採用しており、照明の輝度を調整することも出来ます。(照明は常時点灯しています)
- ・ ブーストメーター・プレスメーターに指針の表示方法を3種類設定しました。(表示モード参照)
- ・ 全機種に「ピークホールド」「ワーニング」「リプレイ」機能を搭載しております。(各機能説明参照)
- ・ プレスメーターのワーニング設定は、上限値と下限値を個別に設定することが出来ます。
- ・ リプレイ機能のレコード(記録)時間はメーターの台数に限らず99.1秒と、他社の2倍以上のリプレイ時間を可能にしました。
- ・ リプレイリンク機能により、どのメーターからでも「レコード(記録)」「リプレイ(再生)」操作が出来ます。リプレイスピードを2倍速で表示することも出来ます。(リプレイリンク機能参照)
- ・ 鮮やかな3色(赤・緑・黄)のELD表示で、操作の確認が出来ます。

### 〔製品ラインナップ〕

□ レーシングメーターDC LIVE UNIT .....	定価 ¥ 10,000
□ レーシングメーターDC BOOST(WH) 2.0 hkPa .....	定価 ¥ 20,000
□ レーシングメーターDC BOOST(BK) 2.0 hkPa .....	定価 ¥ 20,000
□ レーシングメーターDC BOOST(WH) 2.5 hkPa .....	定価 ¥ 22,000
□ レーシングメーターDC BOOST(BK) 2.5 hkPa .....	定価 ¥ 22,000
□ レーシングメーターDC TEMP(WH) .....	定価 ¥ 26,000
□ レーシングメーターDC TEMP(BK) .....	定価 ¥ 26,000
□ レーシングメーターDC PRESS(WH) .....	定価 ¥ 32,000
□ レーシングメーターDC PRESS(BK) .....	定価 ¥ 32,000

## 【 :付属品のご案内】

取り付け作業に入る前に、キット内の構成パーツを確認して下さい。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一パーツの損失や不足等が御座いましたら弊社窓口までご連絡下さい。

### 製品についての連絡先

本製品に関するお問い合わせやご連絡は、お電話又はFAXにて下記宛にお願いします。

連絡先: ㈱ブリッツ

TEL: 0422 - 60 - 0515

住所 : 東京都西東京市新町4 - 7 - 6

FAX: 0422 - 60 - 0521

URL: <http://www.blitz.co.jp/>

### (商品構成パーツ)

#### (LIVE UNIT)

LIVE UNIT本体	1台	エレクトロタップ	2個
電源用ハーネス	1本	取り扱い説明書(兼保証書)	1部
両面テープ 50×15mm	2枚	メーター認識ステッカー	1枚
タイラップ大	1本	化粧箱(コートボール)	1箱
タイラップ小	1本		

#### (BOOST METER)

メーター本体	1台	タイラップ大	1本
ナイロンホース 4×2m	1本	タイラップ小	1本
ナイロンホースジョイント(ストレート)	1個	取り扱い説明書(兼保証書)	1部
ナイロンホースジョイント(Tパイプ)	1個	化粧箱(PET・コートボール)	1箱
両面テープ 50×15mm	1枚		

#### (TEMP METER)

メーター本体	1台	タイラップ大	1本
TEMPセンサー(ネジピッチ1/8)	1本	タイラップ小	1本
センサー中間ハーネス(3.5m)	1本	取り扱い説明書(兼保証書)	1部
両面テープ 50×15mm	1枚	化粧箱(PET・コートボール)	1箱

#### (PRESS METER)

メーター本体	1台	タイラップ大	1本
PRESSセンサー(ネジピッチ1/8)	1本	タイラップ小	1本
センサー中間ハーネス(3.0m)	1本	取り扱い説明書(兼保証書)	1部
両面テープ 50×15mm	1枚	化粧箱(PET・コートボール)	1箱

各メーターのハーネスは1.5mです。

TEMP・PRESS各センサーのハーネスを、延長したり短縮したりしないで下さい。

キット内の構成パーツは、本製品を取り付けるに必要な最小限のパーツで構成されております。取り付け場所や取り付け方法により、キット以外のパーツが必要になる場合があります。

## 【 :取り扱い上の注意事項】

下記の注意事項を良くお読みになり、充分ご理解頂いた上で、正しい取り付け作業及び正しいご利用を行う様にして下さい。

### 本文中マークの説明

危険	この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、人が死亡又は重傷を負う事に至る切迫した危険状況を示します。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される危険な状況を示します。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、人が軽傷又は中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況、及び物質損害の発生のみが想定される状況を示します。
お願い	この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、本製品が本来の性能を発揮できなかったり、故障する内容及び利用出来ない機能や事項等の内容を示します。(人身事故に関わらない特別な説明)

### お願い

この製品についての説明には、製品を使用する際と車両に装着する際の注意事項が詳しく記載してありますので、用途に応じた説明を良くお読みになって正しくお使い下さい。

本説明書は、いつでも取り出して読める様に車内に大切に保管しておいて下さい。

この製品は本書記載の構成部品、付属品リストで構成されています。不具合や不足がある場合には、販売店または弊社まで連絡を下さい。

この製品は精密機器の為、装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で故障の原因になる場合がありますので取り扱いには注意して下さい。また、不要な分解をしますと機能が損なわれる恐れがあります。機能が損なわれますとエンジンが破損する事があります。

メーター本体とライヴユニットの取り付け場所は、ヒーターの出口や直射日光の当たるダッシュボード、コラムカバー上部など温度の高くなる場所は避けて設置して下さい。温度が高い所に設置しますと通常の電子部品作動限界温度(60 )を超える場合があります。その場合電子回路が作動不良を起こしたり、ケースが変形したりして操作ができなくなる事があります。

本製品の取り付け作業に伴うノーマル部品の脱着作業は、自動車メーカーの定める修理書又は整備書を参照になり、正しい作業を行って下さい。

### 危険

この製品の取り付け作業は、バッテリーのマイナス端子を外して電源オフの状態にして下さい。電圧のかかった状態で取り付け作業を行いますと、作業中の接触により感電したり、本製品や取り付けた車両の電装部品が、破損したりする原因となりますので注意して下さい。

誤配線は絶対にしないで下さい。誤配線した場合、本製品の破損や取り付けた車両の火災につながりますので危険です。誤配線や結線不良により発生する、本製品破損や取り付けた車両の破損について弊社は一切の責任を負いません。

電源回路が、12Vと24Vの併用車及び24V車には適合しません。

## 警告

本製品装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生した不具合に關しまして、弊社では責任を負う事が出来ませんので、詳細はその製品に備え付けの取り扱い説明書などをお読み下さい。

お客様ご本人、又は第三者の方がこの製品及び付属品の誤った使用やその使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた傷害に付いて、弊社は一切の責任を負いませんので予め御了承下さい。

自動車の部品交換は本来設備の整った自動車整備工場で、専門の教育を受けた整備士が行うべき危険な作業です。専門外のお客様が作業すると、けがや火傷の可能性があり危険です。

## 警告

### 一酸化炭素中毒防止

エンジンをアイドリングしたまま休憩や仮眠をすると、排気ガスによる一酸化炭素中毒を招く危険性があります。必ずエンジンを停止して下さい。

排気ガスには有毒な成分が含まれています。閉めきった車庫や倉庫の中などでエンジンを動かすつづけると一酸化炭素中毒の危険があります。必ずエンジンを停止して下さい。

マフラーのテールパイプからは有毒な排気ガスが排出されます。停車または駐車中に車の後方にいたり、特に幼児やペットを置いてエンジンを動かし続けると一酸化炭素中毒の危険があります。必ずエンジンを停止して下さい。風向きにも注意して下さい。

### 触れると火傷

エンジンが動いている時あるいはエンジンを停止した後はエキゾーストマニホールド、ラジエータ、エンジン本体やマフラーが非常に高温になっています。特に後端のテールパイプの部分は自動車の外に露出していて触れやすいので気をつけて下さい。触れると大火傷の危険があります。

お子様には特に注意して下さい。またトランクから荷物を出し入れする時衣服がテールパイプに触れると焦げたり溶けたりする事があります。停車、駐車する際には周囲に気をつけて下さい。

ラジエータ、エンジン本体や排気関係の部品は熱いので触れると火傷します。必ず冷やしてから作業を行って下さい。手の火傷を防ぐ為に作業用の手袋を着用して下さい。

### その他

本製品の取り付けは、車室内やエンジンルーム内の電気配線及びエンジン本体付近で作業をしますので電気配線やエンジン配管に傷を付けない様に作業をして下さい。電気配線やエンジン配管に傷を付けますと、配線ショートやエンジンオイル漏れ、冷却水漏れの原因となり最悪の場合にはエンジンの破損や車両の破損・焼損が考えられます。

純正部品のボルトやナットが緩みにくい事がありますのでスプレー式の浸透性潤滑油などを使用し適正な工具を使用して無理のない作業を行って下さい。特に手のけがを防ぐ為に作業用手袋を着用して下さい。

本製品は耐久性を考慮して厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理の元に製造されていますが、自動車の使用条件や製品本体周囲の状況が想定条件よりも悪いと耐久性が落ちる事があります。

自動車の排気部品は高温になります。枯れ草などの燃えやすい物の上にエンジンを動かしたままの駐停車、またはエンジン停止直後に駐停車すると火災の危険があります。必ず自動車の下に燃えやすい物等が無い事を確認してから停車、駐車して下さい。

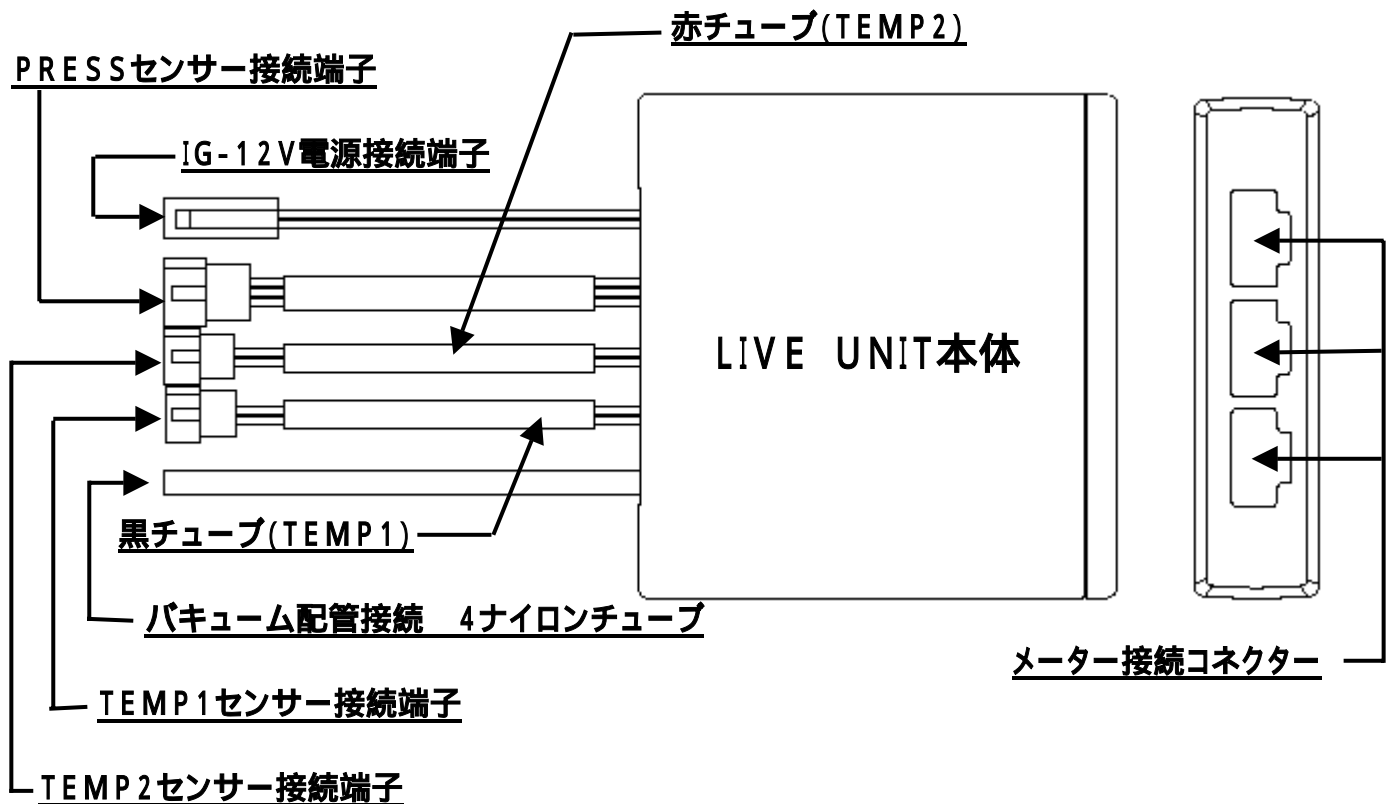
自動車の安全整備はドライバーの法定責任です。定期点検整備は安全性と公害防止をはかる上で、必要不可欠です。日常の点検はもとより定期点検や定期部品交換は、必ず実施して下さい。
自動車部品の取り外しや取り付けの作業をする時は、必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。バッテリーが接続されたまま作業を行って作業中に工具等が接触してショートしたりしますと、コンピューター等の電気部品が破壊されます。また、素手で作業をしていて触れたりしますと感電しますので危険です。
部品交換は自動車が不安定な状態で作業すると危険です。必ず自動車作業専用リフトを使用して安全に作業して下さい。(二柱リフトをお勧めします)ガレージジャッキを使用する場合は、必ずリジトラック等を兼用して安全に作業を行って下さい。車載ジャッキでの作業は危険ですので絶対に行わないで下さい。
エキゾーストマニホールド、ターボチャージャー、フロントパイプなどの排気系に、オイル等の可燃物や洗浄用溶液がこぼれますと、車両火災を招く恐れもあります。
自動車の吸気関係や排気関係の部品は正しい取り扱いをしていても、自動車の使用状況や排気ガスの有害成分で部品の性能が劣化したり、製品が腐食して穴が開く場合が有ります。このような場合は、速やかに販売店や整備会社に相談して頂き、製品本来の性能が失われていたら新品に交換して下さい。性能が劣化した製品を放置したり腐食を放置したままにしますと、エンジンの吸入混合気や排気ガスが、エンジンルーム内や車体の下部などに漏れて火災の危険があると同時に、整備不良車運行で運転者が罰せられる事が有ります。
装着作業は専門の整備工場などに依頼して下さい。
本取り扱い説明書を十分理解した上で作業を実施して下さい。
作業が終了しましたら、本取り扱い説明書と保証書を必ずお客様にお渡し下さい。
文中の純正品又はノーマルとは自動車メーカーの標準装着品の意味です。
結線およびアースは確実に行って下さい。アースの結線場所は、樹脂や塗装面を避けて金属面を選んで下さい。アース不良は、本製品の作動不良や製品破損の原因となります。
取り付け確認作業を怠り、取り付けが原因によるあらゆる過失に関して弊社は一切の責任を負いかねます。
本製品の取り付け場所は、運転の支障にならない場所を選んで取り付けして下さい。万一、外れた場合でも運転の妨げにならない様に考慮して下さい。

## 注意

バッテリーが接続されたまま作業を行って作業中に工具が接触してショートしたりしますと、コンピューター等の電気部品が破壊されます。また、素手で作業をしていて触れたりしますと感電しますので危険です。
コネクターの接続は確実に行って下さい。接触不良やショートの原因になります。
本製品の配線加工は絶対に行わないで下さい。正常に作動しなくなります。
本製品の故障及び異常が確認された場合は、直ちに御購入になられた販売店様もしくは弊社窓口までご連絡下さい。重大な損失を伴う場合がありますので、ご自分で修理や分解を行わないで下さい。
本製品の取り付けに関し、車両の内外装及び電装品の加工を伴いますが、この作業による物的損失はお客様の責任において行うものとし、当社は物的損失の責任を追うことは出来ませんので、取り付け作業を行う専門店様とおお客様の了解の基に作業を進めるようにして下さい。
バッテリーのマイナス端子を外す事による損失(メモリーデータ消去等)に関して、当社は責任を負い兼ねますので、予め損失が予想される製品の取り扱い説明書を良くお読みになり、充分理解した上で作業を開始して下さい。

## 【 :取り付け説明】

### 〈LIVE UNITの取り付け〉



#### 〈IG-12V電源接続端子への配線方法〉

- ・ 付属の電源ハーネスとエレクトロタップを使用し、赤配線に「IG - 12V」電源を引きます。
- ・ 付属の電源ハーネスとエレクトロタップを使用し、黒配線を確実にアースします。

#### 〈PRESSセンサー接続端子への配線方法〉

- ・ PRESS METERキット内に付属のPRESSセンサー中間ハーネスを差し込みます。

#### 〈TEMP2センサー接続端子への配線方法〉

- ・ TEMP METERキット内に付属のTEMPセンサー中間ハーネスを差し込みます。

#### 〈TEMP1センサー接続端子への配線方法〉

- ・ TEMP METERキット内に付属のTEMPセンサー中間ハーネスを差し込みます。

#### 〈バキューム配管接続 4ナイロンチューブへの配管方法〉

- ・ BOOST METERキット内に付属の 4ナイロンチューブジョイントを差し込み、エンジンから引き込んだ 4ナイロンチューブと結合させます。

- ・ LIVE UNIT本体の取り付けは、接続するメーターの配管、配線が全て終了してから最後に付属の両面テープを使用し、運転の妨げにならない所に貼り付けて下さい。

## 注意

配線の接続時にはサーキットテスターを使用し、電源やアースが確実に接続できる事を確認して下さい。  
LIVE UNITの取り付けは、前項の注意事項に従って正しく取り付けして下さい。

### (BOOST METERの取り付け)

- ・ スロットルバルブよりエンジン側のインテークマニホールドもしくはサージタンク(負圧から正圧まで全ての圧力を検出できる場所)からの圧力を、付属の「Tパイプ」「ナイロンホース」「ナイロンホースジョイント」を使用してLIVE UNIT本体から出ている 4ナイロンホースに接続して、車内に引き込んで下さい。また、スロットルバルブ付近から配管されますと、正常な圧力が検出できない場合がありますので注意して下さい。インジェクション車両は、フューエルプレッシャーレギュレータのバキューム配管に、付属の「Tパイプ」を使用して接続する事をお勧めします。
- ・ メーター本体のハーネスをLIVE UNITのメーター接続コネクタに接続します。接続位置の指定はありませんので、どのコネクタに接続してもBOOST検知値を表示します。

### 注意

BOOST METERは電気式ですが、LIVE UNITに圧力センサーを内蔵していますのでエンジンルームにセンサーを取り付ける必要はありません。

電源は全てLIVE UNITより分配されますので、個別に配線をする必要はありません。

### (TEMP METERの取り付け)

#### OIL TEMPとして使用する場合

- ・ 付属のTEMPセンサーを、オイルパンのオールドレンに取り付けます。取り付けの際は、メーターオプションパーツの「レーシングメーターDC専用TEMPフィッティング」(別売)を使用して取り付けて下さい。TEMPフィッティングの車種適合は、当社カタログで確認して下さい。  
「オイル\*\*\*\*\*」(品番\*\*\*\*\*別売¥\*\*\*\*)を使用すると、油温、油圧の各センサーが取り付けられますので便利です。

#### WATER TEMPとして使用する場合

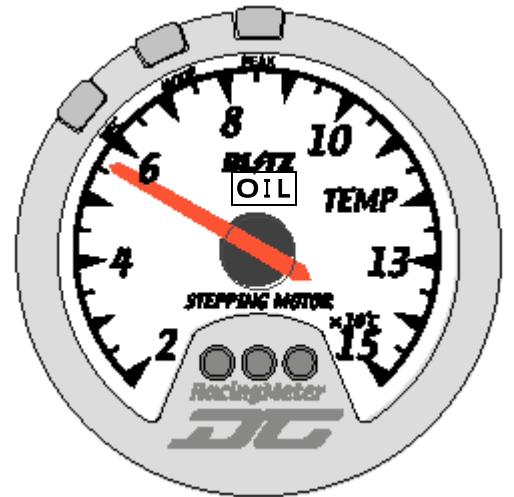
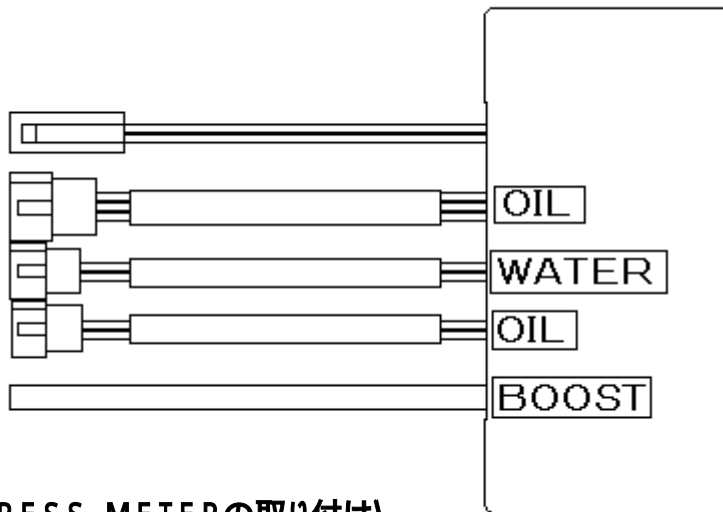
- ・ 付属のTEMPセンサーを、ラジエーターのアップパー側(純正水温センサー部)もしくは、当社クーリングパフォーマ(別売)を使用して取り付けて下さい。クーリングパフォーマの車種適合は、当社カタログで確認して下さい。
- ・ TEMPセンサーを取り付けたら、付属の中間ハーネスを使用しハーネスを車内へ引き込みます。
- ・ LIVE UNITのTEMPセンサー接続端子にセンサーの中間ハーネスを確実に差し込んで下さい。TEMP1・TEMP2のどちらでも接続は可能ですが、通常はTEMP1に接続するようにしておくのが解りやすいです。
- ・ メーター本体のハーネスをLIVE UNITのメーター接続コネクタに接続します。接続位置の指定はありませんので、どのコネクタに接続してもTEMP検知値を表示します。

### 注意

TEMPセンサーを2本取り付ける場合は、ハーネスにテープを貼るなどしてTEMP1・TEMP2のどちらにどのセンサーが接続されているか識別できるようにして下さい。LIVE UNITに付属している「メーター認識ステッカー」をメーター文字盤の上に貼るか、LIVE UNITのケースに貼るなどして、認識が容易に出来るようにしておくのが便利です。(下図参照)

TEMP1・TEMP2のメーター側の識別方法ですが、MODEスイッチを押す毎にグリーンLEDランプが点灯したり消灯したりします。消灯時がTEMP1のセンサー検知値を表示しており、点灯時がTEMP2のセンサー検知値を表示しています。



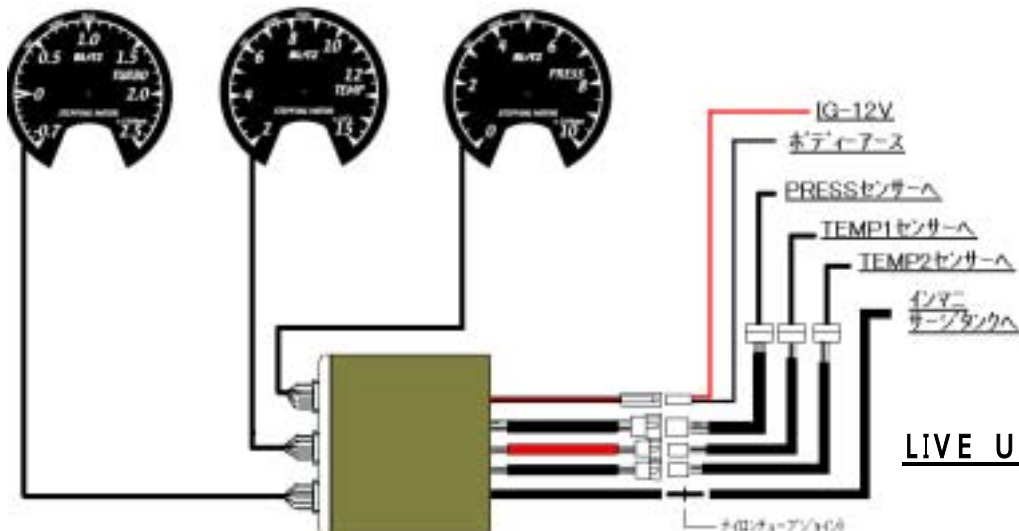


(PRESS METERの取り付け)  
OIL PRESSとして使用する場合

- ・ エンジンブロックのオイルプレッシャーセンサー(純正装着部品)を外し、当社から発売されている「アタッチメントオイルデリバリー」(品番73103 別売¥950)を使用して、純正のオイルプレッシャーセンサーとメーター付属のPRESSセンサーを取り付けます。
  - ・ 純正オイルプレッシャーセンサーの取り外しは、自動車メーカーの整備書又は修理書を参照して下さい。車両によってはPRESSセンサーの取り付けが困難な場合があります。その場合は、「油圧アダプターセット」(品番19551別売¥5,000)を使用し、PRESSセンサーを別の位置に取り付けるようにして下さい。
- 「オイル\*\*\*\*\*」(品番\*\*\*\*\*別売¥\*\*\*\*)を使用すると、油温、油圧の各センサーが取り付けられますので便利です。

FUEL PRESSとして使用する場合

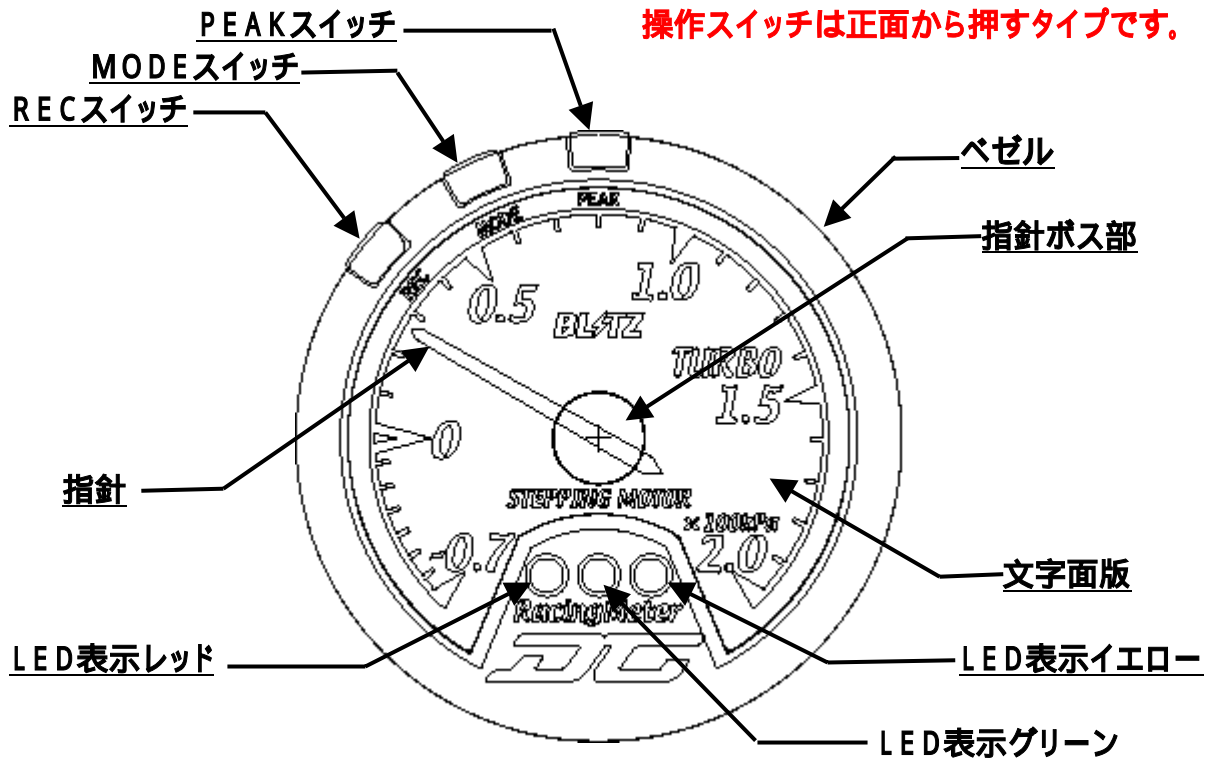
- ・ 当社から発売されている「燃圧アダプターセット」(品番19559 別売¥5,000)を使用して取り付けして下さい。
- ・ PRESSセンサーを取り付けたら、付属の中間ハーネスを使用しハーネスを車内へ引き込みます。
- ・ LIVE UNITのPRESSセンサー接続端子にセンサーの中間ハーネスを確実に差し込んで下さい。
- ・ メーター本体のハーネスをLIVE UNITのメーター接続コネクタに接続します。接続位置の指定はありませんので、どのコネクタに接続してもPRESS検知値を表示します。



LIVE UNIT接続イメージ

## 【 :操作説明】

(メーター各部の名称)



(レーシングメーターDCの機能)

: 指針の表示モード選択機能 (TEMP METERはリアルモードのみです)

- ・ 「MODEスイッチ」を押す毎に、3タイプの指針の表示モードを切り替えることができます。

: ピーク表示

- ・ 「PEAKスイッチ」を押すと、PEAK値表示をします。

: ワーニング機能

- ・ 任意に設定したワーニング値を越えると、レッドLEDが点灯し警告します。

: 記録リプレイ機能

- ・ 99.1秒間の記録・リプレイをすることが出来ます。

: リプレイリンク機能

- ・ 複数のメーターを接続した時、どれか1台のメーター操作で全てのメーターの記録・リプレイを行う事が出来ます。

: 輝度調整機能

- ・ LEDバックライト照明の輝度を調整することが出来ます。

(各機能操作説明)

: 指針の表示モード選択機能 (TEMP METERはリアルモードのみです)

- ・ 「MODEスイッチ」を押す毎に、指針の表示が「リアル」「ディレイ」「パッシングホールド」「リアル」の順に切り替わります。(押し続けるとワーニング設定モードになります)

- ・ リアルモード: グリーンLED1回点滅

(アイドリング時の微妙な圧力の変化にも対応する敏感な表示をします。)

- ・ ディレイモード: グリーンLED2回点滅

(ステッピングモーター特有のデジタル的な表示をします。)

- ・ パッシングホールドモード: グリーンLED3回点滅

(リアルモードの敏感な表示に、2.4秒間のピークホールド表示をさせる事により、走行中の表示確認が容易になります。)

## ピーク表示

- ・ 「PEAKスイッチ」を押すと、イエローLEDが点灯しピーク値を表示します。
- ・ 再度「PEAKスイッチ」を押すと元の表示に戻ります。
- ・ ピーク値のリセットは、ピーク値表示中に「PEAKスイッチ」を1秒間押すとリセットされます。リセット後もピーク表示モードになっていますので、ピーク値を表示したままの走行も可能です。再度「PEAKスイッチ」を押すと元の表示に戻ります。
- ・ ピーク値は常に更新されており、その値はIG - OFF後もメモリーにより保持されます。

## ワーニング機能

- ・ 「MODEスイッチ」を1秒間押すと、レッドLEDが点灯と同時に指針がワーニング値を指示して、ワーニング設定モードになります。**(押し続けると輝度調整モードになります。)**
- ・ 調整方法は、「PEAKスイッチ」を押すと指針が上昇し「RECスイッチ」を押すと下降します。
- ・ ワーニング機能をOFFにしたい場合は、設定値を最小値(「RECスイッチ」を押して指針が最左を指示した状態)にして下さい。
- ・ 再度「MODEスイッチ」を押すと、元の表示に戻ります。
- ・ PRESS METERは、ワーニングの上限値と下限値を個別に設定することが出来ます。
- ・ 操作方法は同じですが、最初に上限値の設定を行った後「MODEスイッチ」を押すと下限値の設定モードになります。
- ・ どちらか片方の設定にしたい場合は、設定を必要としない方の設定値を最小値にして下さい。
- ・ 上限値と下限値をクロスして設定した場合は、ワーニングを警告するレッドLEDが点灯したままになります。

## 記録リプレイ機能

- ・ 「RECスイッチ」を1秒間押すと、レッドLEDが点滅します。**(押し続けるとリプレイモードになります)**
- ・ レッドLEDが点滅中に「RECスイッチ」を放すと記録が開始します。
- ・ 最大記録時間は99.1秒間です。記録終了10秒前になるとレッドLEDの点滅が早くなり、終了が近いことを知らせます。
- ・ 記録時間が満了すると、レッドLEDが消灯して自動的に記録を終了し、元の表示に戻ります。
- ・ 記録中に「RECスイッチ」を押すと、記録が停止します。
- ・ 記録されたデータは、記録が上書きされるまで保持しています。
- ・ 記録中に電源をOFF(IG - OFF)すると、記録データは消去されてしまいます。
- ・ 「RECスイッチ」を3秒間押し続けると、グリーンLEDが点滅して記録したデータのリプレイが始まります。**(リプレイ時の指針表示モードは、現在選択中の表示モードでリプレイされます)**
- ・ リプレイ中に「MODEスイッチ」を押して、リプレイ速度を2倍速で確認することが出来ます。「MODEスイッチ」を放すと、通常の数値に戻ります。
- ・ リプレイ時の指針表示モードを選択することが可能です。記録した時の指針表示モード以外のモードでリプレイをすることが出来ます。**(リプレイの途中で変更することは出来ません)**
- ・ リプレイ中に「PEAKスイッチ」を押すと、リプレイが停止します。

## リプレイリンク機能

- ・ ライヴユニットに複数のメーターが接続されている場合、どのメーターからでも接続された全てのメーターの記録とリプレイ操作を同時に行うことが出来ます。
- ・ 指針の表示モードは、各メーターで行って下さい。ただし、TEMP METERの指針表示は、リアルモードのみです。
- ・ ワーニング機能、ピーク値表示機能は連動されておりませんので、各メーターで操作して下さい。
- ・ **TEMP METERが2台接続されている場合にセンサーの表示値が重複されていると、リプレイリンク機能が正常に作動しません。この場合は、必ず1つのセンサーに対して1台のメーターが表示するように設定して下さい。**

## ：輝度調整機能

- ・ 「MODEスイッチ」を3秒間押すと、全LEDが点灯して指針が輝度値を指示し輝度調整モードになります。(「MODEスイッチ」を押し続けるとワーニング値を指示しますが、更に押し続けると輝度調整モードになります。)
- ・ 調整方法は、「PEAKスイッチ」を押すと指針が上昇しLED照明が明るくなります。「RECスイッチ」を押すと指針が下降しLED照明が暗くなります。消灯にはなりません。
- ・ 輝度調整機能は、レッド、グリーン、イエローの表示LEDには反映されません。
- ・ 再度「MODEスイッチ」を押すと、元の表示に戻ります。

### (操作と表示に関する注意事項)

- ・ レーシングメーターDCの操作は、全てベゼル部にある「REC」「MODE」「PEAK」の3つのスイッチで行います。
- ・ 指針の表示モードは、切り替え時のグリーンLED点滅回数で確認して頂くこととなります。表示中は指針の動き方で確認して下さい。
- ・ TEMP METERのライブユニットへのTEMPセンサーの接続は、ライブユニットから出ている接続端子の黒チューブ側がTEMP1、赤チューブ側がTEMP2の接続端子になります。
- ・ TEMP METER1台でセンサーを2本接続している場合の、TEMP1・TEMP2表示切り替えは「MODEスイッチ」で行います。表示確認方法は、「MODEスイッチ」を押す毎にグリーンLEDが点灯と消灯を繰り返しますので、消灯時がTEMP1センサー検知値、点灯時がTEMP2センサー検知値を表示しています。各センサーの車両側接続箇所は、各センサーの配線などにマーキングをして認識できるようにしておくと、後で迷うことがなくなりますので、必ず認識が出来る様にして下さい。ライブユニットに付属している「認識ステッカー」を、ライブユニットケース部に貼ると便利です。
- ・ TEMP METER1台でセンサーを2本接続している場合のピーク値は、TEMP1・TEMP2検知値のどちらか高い方の上限値を指示します。
- ・ TEMP METER1台でセンサーを2本接続している場合、ワーニング設定値を個別に設定することが出来ません。設定したワーニング値はTEMP1・TEMP2どちらにも反映されます。
- ・ TEMP METER1台でセンサーを2本接続している場合のリプレイ機能は、表示設定されていない方のセンサー検知値も記録されていますので、TEMP1・TEMP2の表示切り替えを行えば双方の記録データをリプレイすることが出来ます。
- ・ TEMP METERを2台接続している場合は、必ずメーター側の表示設定がTEMP1(グリーンLED消灯)・TEMP2(グリーンLED点灯)になるように、個別表示設定をして下さい。表示設定するメーターは2台の内、どちらでも可能です。TEMP METER2台が同じセンサーの検知値を表示している場合(例えば、TEMP1センサー検知値を2台のTEMP METERが表示している場合)、リプレイリンク機能が正常に作動しませんので注意して下さい。(検知値の表示は可能です。)
- ・ PRESS METERの輝度調整モード時は、BOOST METERやTEMP METERと同様にワーニング設定モードを一旦指示してからになりますので、ワーニングの上限値と下限値を指示してから輝度調整モードになります。(指針の動き方が他のメーターよりも1行程多くなります。)
- ・ IG - ONにすると、指針のデモンストレーションが始まります。メーター側でワーニング値を設定すると、通常表示になる前にワーニング設定値を指示し、事前に確認することが出来ます。
- ・ ライブユニットのオプション設定(基盤上に電子部品追加)をすることにより、各センサーの検知電圧値を出力することが可能になる、データロガー出力機能を備えております。ご要望の際は、お買い上げ頂いた販売店様に問い合わせ頂くか、当社窓口までお問い合わせ下さい。(別途費用が必要です。)

(スイッチ操作説明早見表)

機能・設定	表示内容	切り替え方法	LED表示
指針表示選択機能 (TEMP METER省く)	リアルモード ディレイモード パッシングホールドモード	MODEスイッチ	グリーンLED 1回点滅 グリーンLED 2回点滅 グリーンLED 3回点滅
ピークホールド機能	ピーク値表示 ピーク値リセット	PEAKスイッチ PEAKスイッチ1秒押し	イエローLED点灯 イエローLED消灯
ワーニング機能	ワーニング値表示 ワーニング値設定	MODEスイッチ1秒押し PEAKスイッチで上昇 RECスイッチで下降	レッドLED点灯
リプレイ機能	記録スタート 記録ストップ 記録データリプレイ リプレイ2倍速 リプレイ停止	RECスイッチ1秒押し RECスイッチ RECスイッチ3秒押し MODEスイッチ PEAKスイッチ	レッドLED点滅 レッドLED消灯 グリーンLED点滅 グリーンLED早点滅 グリーンLED消灯
輝度調整機能	LED照明調整	MODEスイッチ3秒押し PEAKスイッチで上昇 RECスイッチで下降	全LED点灯
TEMP METER切替	TEMP1表示選択 TEMP2表示選択	MODEスイッチ	グリーンLED消灯時 グリーンLED点灯時

【 :付属品のご案内】

- レーシングメーターDCの取り付けに便利なオプションパーツをご紹介します。

商品名	品番	定価	備考
TEMPフィッティング M12 - 1.25	19220	¥800	TEMPセンサー取り付け時に使用
TEMPフィッティング M14 - 1.5	19221	¥800	TEMPセンサー取り付け時に使用
TEMPフィッティング M16 - 1.5	19222	¥800	TEMPセンサー取り付け時に使用
TEMPフィッティング M20 - 1.5	19224	¥800	TEMPセンサー取り付け時に使用
オイルセンサーアタッチメント		発売予定	TEMPセンサー取り付け時に使用
クーリングパフォーマ(車種別)	754##	¥9800	TEMPセンサー取り付け時に使用
油圧アダプターセット	19551	¥5000	PRESSセンサー取り付け時に使用
燃圧アダプターセット	19559	¥5000	PRESSセンサー取り付け時に使用
アタッチメントオイルデリバリー	73103	¥950	PRESSセンサー取り付け時に使用
ナイロンホース 4 1m	75318	¥370	バキュームホースの延長時に使用
ナイロンホースジョイント	16029	¥200	ナイロンホース 4の接続時に使用
IAGホース 24×250	75701	¥520	エンジンルーム内の断熱時に使用
アルミクロスマット 1.5T×500×500	75751	¥3000	エンジンルーム内の断熱時に使用
マルチスタンド	29290	¥1000	メーター本体取り付け時に使用

## (各部仕様)

### LIVE UNIT

- ・ 作動電源:DC12Vバッテリー車両対応
- ・ メイン電源12V、GNDアース
- ・ 作動環境温度 0～60
- ・ 電源ハーネス:2Pハーネス L=75mm(保護チューブなし)
- ・ PRESSセンサー接続ハーネス:3Pハーネス L=75MM(保護チューブ黒)
- ・ TEMP2センサー接続ハーネス:2Pハーネス L=75MM(保護チューブ赤)
- ・ TEMP1センサー接続ハーネス:2Pハーネス L=75MM(保護チューブ黒)
- ・ バキューム配管接続 4チューブ: 4ナイロンホース L=70MM
- ・ 本体ケースサイズ:80×77.5×20

### BOOST METER

- ・ ブースト圧表示範囲: -0.7～2.0[×100kPa](2.0仕様)
- ・ ブースト圧表示範囲: -0.7～2.5[×100kPa](2.5仕様)

### TEMP METER

- ・ 温度表示範囲:20～150[ ]

### PRESS METER

- ・ 圧力表示範囲:0.0～10.0[×100kPa]

### (初期設定値)

- ・ 表示モード……………リアルモード
- ・ ピーク値……………最小値
- ・ ワーニング値……………OFF
- ・ 照明輝度……………最大値(輝度100%)
- ・ リプレイデーター……………なし

(上記設定値は、IG - OFF後も記録されています)